

学童・仏子小フェンス・仏子交差点改善を

2016年9月議会での一般質問

定員超過していない学童保育室は、夏季の申し込み児童をほぼ受け入れていますが、定員超過している学童は、多数入室不可に。豊岡学童は、10名を全員受け入れましたが、定員超過の黒須学童は、4人中1名のみ。私が「不公平性では」と指摘すると「学童によっての違いは認識している。欠席する児童分を受け入れることができたのではないかと答弁。私は「人数の基準を無視する詰め込みではなく施設の改善こそが必要。なぜ余裕教室の利用が進まないのか」と質しても明確な答弁はなく「研究したい」との答弁。

3割休めばその分詰め込み

私は「3割休むからと言ってそこに児童を詰め込み、それでも受け入れられない児童が多数いた。詰め込みをやめるためにも改善は待ったなしだ」と強く求めました。

支援員の待遇改善を

支援員も常に不足しており、解消されるはずの派遣対応が続いています。私は、労働条件改善がなされなければ問題は解決しないことを指摘し、根本的改善を求めました。

仏子小フェンスの改善

仏子小の市道側フェンスが低くサッ

カーボールが出てしまい危険です。改善を求めると教育長は「子どもへの指導で対応する」と答弁。ボールを思いきり蹴れるグラウンドへ簡易なネットの設置などを要請しました。

危険な交差点改善へ

県道入間富岡線と市道G378号線コンビニ前の交差点は市道側から、見通しが悪く死亡事故が起きています。

改善について質すと、県・市・県警の対応で押ボタン式信号柱の移動、市道から県道に入る際のミラーの位置と大きなサイズへの変更、県道路面への「速度落とせ、交差点注意」の表示、市道への「交差点注意」の立て看板設置、市道からまっすぐに県道に出られる表示などを改善するとの答弁。私は早急の実施するよう求めました。



仏子小学校フェンス

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04 (2932) 7884
携帯 090 (6542) 3883

日本共産党小出わたる

市議会つうしん

●近況・活動・第4回定例議会の報告

◇歌を歌って基地拡張ストップ

◇待ったなしの学童保育改善

◇仏子小フェンス・仏子交差点改善を

No 29

2016年冬号



入間から戦争する国づくりストップ

みなさんの願い実現に声を市政に届けます

いよいよ冬本番です。みなさん風邪など引かれていませんか。私は、12月議会に向けて準備をするとともに、市政50周年記念「入間で第九を歌う会」本番に向けて、運転中の練習に励んでいます。会での練習では、テノールで結構目立っています。もちろんハーモニーが第一ですが…

いずれにせよ平和でなければ芸術の発展はありませんし、本当の芸術は、平和のためにあるのだと思います。芸術が戦意高揚のために使われることなど絶対に許せません。「平和のために歌い、歌うために平和を」これからもガンガン歌い続けます。

市民の声が政治を変える

東町基地跡地は、「公園・スポーツ施設・緑地帯」として市民のために使われる計画でした。

田中市長が受け入れた「災害対処拠点・自衛隊病院」の建設は、市民の文化のための計画を、海外で戦争するための拠点へと180度転換するものです。

絶対に認められません。

11月20日には「安保法制の発動許すな！入間基地拡張ストップ！緑の森を守ろう！埼玉県集会」が開催され、多くの人が声をあげました。引き続き一緒に声を上げていきましょう。市民の声が大きくなれば、政治は必ず変わります。

市民の力で小中エアコン実現

小中学校へのエアコン設置も市民の皆さんが声を上げ続けたから、実現することになったのです。共産党市議団は、皆さんの声を直接市政に届けてきました。引き続き、皆さんの願い実現に頑張ります。

共産党と市民の共同が大きく前進

日本共産党市議団

力を合わせ市民の願い実現へ

小中学校にエアコン設置！

夏には、40度に近くなる夏季小中学校の教室。共産党市議団は、学習環境の改善のため、繰り返し議会一般質問でエアコン設置を求めてきました。

同時に市民団体「学校エアコン応援ネット」とともに署名活動や市長への要請行動に取り組んできました。

市民と党市議団の共同が、小中学校エアコン設置へ、29年度工事、30年度夏からの稼働を実現させました。



基地拡張ノー！の運動広げ

田中市長は、市民への説明もなく、議会にかけることもなく、「東町基地跡地留保地への災害対処拠点「自衛隊病院建設」を受け入れました。

戦争法と一体の基地拡張であり、市民が、「ストップ入間基地拡張！市民の会」を立ち上げ、請願署名を2015年12月議会に提出。共産党市議団も取り組んだ署名は約9000筆に達しました。

党市議団は、紹介議員となり請願採択に全力で取り組みましたが、他会派の反対で請願は否決されました。しかし、基地拡張反対の運動は大きく前進しています。

国保税値上げ中止と減免拡充

国保税は、27年度に5億円の負担増が行われ、今後さらに5億円引き上げる計画です。年間収入233万円の世帯で25万円を超える国保税は、限界を超えています。共産党市議団は、増税中止と減免制度拡充を求めてきました。法定減免は、所得税非課税の方などへの6割・4割の減免が7割・5割・2割に拡大されました。

申請減免は、「生活困窮」が要件に加えられました。

党市議団は、さらなる改善を求めていきます。



台風被害の対応を市へ要請



8月22日の台風9号による豪雨災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。日本共産党市議団は翌日、塩川てつや・梅村さえこ両衆議院議員、柳下礼子県議とともに被害があった不老川、霞川、藤田堀の現地を視察しました。住民から現状や要望を聞き取りした後、飯能県土整備事務所に行き、被害状況の確認と河川の復旧工事などの対応を要望しました。

後日、入間市に対しても緊急要請書を提出。①災害救助法、被災者生活再建支援法適用を県に要請すること②避難者の生活支援③被災者支援策の強化④被災ゴミの無料回収⑤浸水家屋の消毒⑥り災証明書の速やかな発行⑦河川の補修工事、土のうの確保⑧農業・営業被害の把握と生業再建への支援などを要請しました。

日本共産党市議会報告

2016年11月

発行/日本共産党入間市議団
連絡先/電話・Fax2932-2840

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883

市民の声が届く「まちづくり計画」に！

市の10年間のまちづくり計画、第6次入間市総合計画が9月議会で審議。党市議団は「住民福祉の向上に寄与する」という自治体の役割を投げ捨て「自助・共助・公助」の市政運営や施設の統廃合、民間委託化、受益者負担等が強調され、市民本意の計画になっていないとして反対しましたが、他会派の賛成多数で可決されました。

総合計画は「入間市行政改革大綱」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「公共施設等総合管理計画」等と一体のもので、国の地方創生戦略の方針に基づいています。

公共施設の統廃合や民間委託等で、地域が衰退する恐れがあります。市のトップダウンで進めるのではなく市民と議論し市民本位のまちづくりをすすめるべきです。

市民と共同で「戦争法」ストップへ

入間基地では大型輸送機C-2配備に向け、燃料施設や格納庫等の建設が行われています。自衛隊病院とC-2配備により、入間基地が「海外の戦争に参加する兵站基地」に。自衛隊病院は、戦時医療を担う「後送病院」。第一線で負傷した隊員を救護する救護隊員を養成する施設も併設されます。災害拠点は海外展開のための人員・物資の集積拠点であり、基地の拡張・強化そのもの。党市議団は戦争法廃止・基地拡張ストップの運動を大きく広げるために、皆さんと力を合わせて頑張ります。